

たか、し



杉並区立高井戸第四小学校

こいのぼりに託す子供たちの成長

副校長 米山 美智子

若葉が日ごとに色濃くなり、爽やかな風に初夏の訪れを感じる季節となりました。校庭には、今年も保護者の皆様のご協力により色とりどりのこいのぼりが掲げられ、青空の下を力強く泳いでいます。登校してきた子供たちも足を止めて空を見上げながら、こいのぼりの動きに目を向け、季節の移ろいを自然と感じ取っているようです。

こいのぼりは、流れに逆らいながらもたくましく泳ぐ姿から、子供の健やかな成長や挑戦する心を象徴するものとして、古くから大切にされてきました。時には強い風にあおられ、思うように進めないこともありますが、それでも再び風を受けて空を泳ぐ姿は、困難に直面しながらも前に進もうとする子供たちの姿と重なります。そして、そのこいのぼりを見守る空のように、子供たちを支え、見守る私たち大人の存在の大切さを改めて感じます。

新年度が始まって一か月が過ぎ、子供たちは新しい学年や学級での生活に少しずつ慣れ、学校生活のリズムをつかみ始めています。4月当初は、不安や緊張が見られた子供たちも、友達や周囲の大人との関わりの中で自分の居場所を見付け、学習や活動に前向きに取り組もうとする姿が増えました。5月は、学習内容が本格化するとともに、係活動やたてわり班活動、高学年の委員会活動などを通して、自分の役割や責任を意識し、仲間とともに挑戦する機会も増える時期です。うまくいった経験は自信となり、思うようにいかなかった経験も、次につながる大切な学びとなります。学校では、その過程を大切にしながら、子供たちが安心して挑戦できる環境づくりに努めてまいります。また、子供たちの成長は、学校だけで支えられるものではありません。日々寄り添ってくださっている保護者の皆様、そして登下校時の声掛けや見守りなど、地域の皆様の温かなお力があってこそ、子供たちは安心して学校生活を送ることができます。学校と家庭、地域がそれぞれの立場でつながり合い、同じ方向を向いて子供たちを見守っていくことが、健やかな成長につながるものと考えています。今年も5月1日には、「子ども安全ボランティア」の全体会が開催されます。毎年多くの保護者や地域の皆様が安全ボランティアに登録していただき、子供たちのことを見守ってくださることに感謝申し上げます。

季節の変わり目は、心身のバランスを崩しやすい時期でもあります。学校では、子供たち一人一人の小さな変化に気を配りながら、安心して過ごせる環境づくりを続けてまいります。ご家庭や地域の中でお気付きのことがございましたら、ぜひ学校までお知らせください。

今後も、保護者の皆様、地域の皆様との連携を大切にしながら、こいのぼりが空から見守るように、子供たち一人一人の健やかな成長を支えてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

